

県内の少年非行(平成30年8月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成30年8月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は1,491人で前年同期(1,521人)に比べて30人(2.0パーセント)減少、不良行為少年は12,305人で、前年同期(21,825人)に比べて9,520人(43.6パーセント)減少している。

区分	年別	平成30年	平成29年	増減		
		8月末	8月末	人員	率(%)	
非 行 少 年	犯罪少年	895	936	-41	-4.4	
	触法少年	302	308	-6	-1.9	
	計	1,197	1,244	-47	-3.8	
	特別法 犯	犯罪少年	144	133	11	8.3
	触法少年	39	45	-6	-13.3	
	計	183	178	5	2.8	
ぐ犯少年	111	99	12	12.1		
合計	1,491	1,521	-30	-2.0		
不良行為少年		12,305	21,825	-9,520	-43.6	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		8月末	8月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
刑法犯少年		1,197	1,244	-47	-3.8
凶悪犯		23	9	14	155.6
粗暴犯		223	224	-1	-0.4
窃盗犯		647	725	-78	-10.8
知能犯		44	21	23	109.5
風俗犯		23	27	-4	-14.8
その他		237	238	-1	-0.4
うち占離		89	106	-17	-16.0

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		8月末	8月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		1,197	1,244	-47	-3.8
未就学					
小学生		129	141	-12	-8.5
中学生		401	399	2	0.5
高校生		334	370	-36	-9.7
その他学生		58	54	4	7.4
有職		179	184	-5	-2.7
無職		96	96		

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		8月末	8月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総数		584	673	-89	-13.2
万引き		319	341	-22	-6.5
オートバイ盗		66	83	-17	-20.5
自転車盗		110	143	-33	-23.1
占有離脱物横領		89	106	-17	-16.0
刑法犯少年に占める率(%)		48.8	54.1	-5.3	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の13.9パーセント(前年同期比-1.3ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の54.1パーセントを占め、次いで粗暴犯の18.6パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(7,201人)と深夜はいかい(3,756人)が全体の89.0パーセントを占めている。